

高森高等学校 2 学年「現代文 B」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 旅する本（石田衣良）(2) 「ふしぎ」ということ（河合隼雄）

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 漢字や語彙を正しく身に着ける。 【思考力、判断力、表現力等】 「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し、「本」について考えを広げる。 - 評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ①漢字や語彙を正しく身に着けることができる。 【思考・判断・表現】 ②「旅する本」という表現に込められた寓意を把握し、「本」について考えを広げることができる。 ③評論を読んで、文章の構成、展開、要旨などを的確に捉えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 (5/11)	旅する本 (石田衣良)	1	「旅する本」のプリントを解く。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	① ②
2 (5/13)		2	「旅する本」のプリントの解答・解説。(パワーポイント)	Classi による確認テスト。	②
3 (5/18)		3	読書をする。	Classi によるアンケート回答。	② ④
4 (5/20)	「ふしぎ」ということ (河合隼雄)	4	『「ふしぎ」ということ』（現代文 B 教科書 p67～72）を読む。 語句調べをする。	ノート記入後、写真を Classi で提出。	①
5 (5/25)		5	『「ふしぎ」ということ』の学習の手引き②～⑤（現代文 B 教科書 p73）を解く。	ノート記入後、写真を Classi で提出。	③
6 (5/27)		6	『「ふしぎ」ということ』のプリントを解く。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	① ③

高森高等学校 2 学年「古典 B」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 古文に親しむ (2) 唐詩の世界 (3) 更級日記「あこがれ」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 古語や漢文重要語を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 古文の名文に親しみ、作者・作品名等を覚える。 ・ 詩人たちの人生観や自然観について認識を深める。 ・ 物語への憧れと夢を抱く作者の心情を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 計画的に学習に取り組む。	【知識・技能】 ①古語や漢文重要語を正しく理解することができる。 【思考・判断・表現】 ②古文の名文に親しみ、作者・作品名等を覚えることができる。 ③詩人たちの人生観や自然観について認識を深めることができる。 ④物語への憧れと夢を抱く作者の心情を理解することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤計画的に学習に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 (5/7)	古文に親しむ	1	名文と言われる古文の冒頭文を読みプリントに書き写す。	プリント提出。 (5月12日)	②
2 (5/11)	唐詩の世界	2	漢詩の形式を復習する。(パワーポイント) 「春望」(国語総合教科書 p309) の本文をノートに写し、書き下す。	ノート記入後、写真を Classi で提出。	⑤
3 (5/14)		3	「春望」(杜甫) の詩形・内容を理解する。(パワーポイント)	Classi による確認テスト。	① ③
4 (5/18)		4	「唐詩の世界」プリントを解く。	プリント解答後、写真を Classi で提出。	① ③
5 (5/21)	更級日記 「あこがれ」	5	更級日記「あこがれ」(古典 B 教科書 p64・65) 本文をノートに写す。	ノート記入後、写真を Classi で提出。	⑤
6 (5/25)		6	重要語句の確認。(パワーポイント) 国語便覧で「更級日記」を調べる。	Classi による確認テスト。	① ④

1. 単元 「原始社会の生活と文化」（1）更新世の日本 （2）縄文文化
「農耕社会の形成と大陸文化の摂取」（1）弥生文化と小国家の形成

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色や展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 旧石器文化や縄文文化の特色について、出土資料などをとおして考察する。 - 弥生時代に稲作がはじまり、階級が生まれたことにより、小国の分立へと展開したことを考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 学習計画を立てて実施し、主体的な取り組みをする。	【知識・技能】 ① 旧石器文化や縄文文化、弥生文化の特色や展開について理解できる。 【思考・判断・表現】 ② 旧石器文化や縄文文化の特色について、出土資料などをとおして考察できる。 ③ 弥生時代に稲作がはじまり、階級が生まれたことにより、小国の分立へと展開したことを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 学習計画を立てて実施し、主体的な取り組みができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 0507	原始社会の生活と文化	1	NHK 高校講座日本史・第1回 「原始社会の生活と文化」を見る。	Classi による確認テスト	①
第2回 0514	更新世の日本	2	教科書 P6～P7 を読む。 ワークシート P1 の()に適語を記入する。	Classi による確認テスト 登校日 5/28 にワークシートを点検	② ④
第3回 0519	縄文文化	3	教科書 P8～P10 を読む。 ワークシート P2～P3 の()に適語を記入する。	Classi による確認テスト 登校日 5/28 にワークシートを点検	③ ④
第4回 0521	弥生文化と小国の形成①	4	NHK 高校講座日本史・第2回 「弥生文化と小国の形成」を見る。 教科書 P12～P13 を読む。 ワークシート P4 の()に適語を記入する。	Classi による確認テスト 登校日 5/28 にワークシートを点検	① ④

第5回 0526	弥生文化と小国の 形成②	5	教科書 P14～P15 を読む。 ワークシート P5～P6 の()に 適語を記入する。	Classi による確認テスト 登校日 5/28 にワーク シートを点検	③ ④
-------------	-----------------	---	--	--	------------

高森高等学校 2 学年「現代社会」シラバス（5 月分）

1. 単元 私たちの生きる社会

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・現代社会を取り巻く問題について、具体的にどのような問題があるか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代社会を取り巻く問題について、周囲の人の意見も踏まえ、自分の考えを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・現代の諸課題について、自分なりの意見や解決策を具体的に提案することができる。	【知識・技能】 ① 現代の諸課題について、その内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ② 最近のニュースと関連付けて説明することができる。 ③ 自分の考えを持ち、説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④ 出された課題にきちんと取り組んでいる。 ⑤ 様々な情報を収集し、具体的な考えをまとめ言葉にしている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7	地球環境問題	1	・教科書 p 6～13 を読む ・NHK 高校講座「地球環境問題と資源・エネルギー問題」を聴く（ラジオ）	・Classi による確認テスト	①
第2回 5/14	資源・エネルギー問題	2	・教科書 p 14～p 21 を読む ・資源・エネルギー問題に関するニュースを探し、選んだニュースの要約と感想をレポートにまとめる	・レポート（選んだニュースの要約と感想を A4 1 枚、パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	⑤
第3回 5/19	生命をめぐる問題	3	・教科書 p 22～p 29 を読む ・NHK 高校講座「科学技術の発展と生命」を視聴する	・Classi による確認テスト	①
第4回 5/21	情報をめぐる問題	4	・教科書 p 30～p 37 を読む ・NHK 高校講座「情報化の進展と生活」を視聴する	・Classi による確認テスト	④

第5回 5/26	第1編のまとめ	5	・教科書 p 6 ～ p 37 を読み、第1編の内容を整理する ・地球環境問題、資源・エネルギー問題、生命をめぐる問題、情報をめぐる問題のどれか1つについて解決策・改善策など自分の考えをレポートにまとめる	・Classi による確認テスト ・レポート（A4 1枚、パソコン・手書きどちらでも可。登校日に提出）	① ③
-------------	---------	---	---	--	--------

高森高等学校 2 学年「数学Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 整式の乗法と因数分解

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組を繰り返す。	【知識・技能】 ① 既習の乗法公式を用いて式の展開や因数分解ができる。 ② 三次の乗法公式が理解できる。 ③ 乗法公式を使った因数分解が理解できる。 【思考・判断・表現】 ④ 既習の数や文字式の計算の方法と関連付けて、目的に応じて適切に変形したりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤ 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

※教科書の練習問題は 4 月に配付した授業プリントに解くこと。

理解できない内容は、振り返りアンケートに書くこと。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 5/7.	既習内容の復習	1	登校日に配付した課題プリントを解く。 質問内容を Classi のアンケートに書き込む	Classi による振り返りアンケート	⑤
第 2 回 5/13・ 14・19・ 20・21・ 26・27	整式の乗法と因数分解	2	NHK 高校講座「3 次の乗法公式と因数分解（1）」を視聴、学習メモを読む。	Classi による振り返りアンケート	⑤
		3	教科書の練習 1～4 を解く。質問内容を Classi のアンケートに書き込む	Classi による確認テスト	①② ④
		4	NHK 高校講座「3 次の乗法公式と因数分解（2）」を視聴、学習メモを読む。	Classi による振り返りアンケート	⑤
		5	教科書の練習 5～7 を解く。 質問内容を Classi のアンケートに書き込む	Classi による確認テスト	①③ ④

		6	オンラインによる質問内容の解説 展開・因数分解公式集を作る	Classi による振 り返りアンケート	⑤
		7	REPEAT II +B の A 問題 1～4 をプリント に解く。	Classi による確 認テスト	⑤
		8	「一学楽校 NAVI」というサイトの数学か ら、興味がある記事を 2 つ読み、レポート を作成する。	登校日にレポー トを提出	⑤

1. 単元 (1) 等差数列 (2) 等比数列

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 等差数列と等比数列について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画を立て、実施し、取組を繰り返す。	【知識・技能】 - 数列の規則性を発見し、一般項を表すことができる。 - 一般項を用いて、様々な項を求めることができる。 - 等差数列の一般項と和を求めることができる。 - 等比数列の和と一般項を求めることができる。 【思考・判断・表現】 - 数列について、n の変化に伴う a_n の変化や n と a_n との対応関係に着目し、その変化や対応関係を数学的に表現し考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 - 計画を立て実施し取組を繰り返すことができる。

4. 授業計画

※理解できない内容は、振り返りアンケートに書くこと。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8	数列について知る。	1	黄金比とフィボナッチ数列について、インターネット等を利用して調べ、まとめる。	登校日にレポートを提出	⑥
		2	身近にある黄金比を探す。	写真に撮って Classi (コンテンツボックス) に提出	⑥
第2回 5/15	数列	3	教科書 P68、69 を読み、授業プリント「数列とその和」の例題を解く。	Classi による振り返りアンケート	⑤⑥
		4	教科書の練習 1～3、REPEAT の問題を授業プリント「数列とその和」に解く。	Classi による確認テスト Classi による振り返りアンケート	①② ⑥

第3回 5/22、	等差数列	5	教科書P70、71を読み、授業プリント「等差数列とその和」の例題を解く。 教科書の練習4～7を解く。	Classiによる確認 テスト Classiによる振り返りアンケート、	③⑥
		6	教科書P72、73を読み、授業プリント「等差数列とその和」の例題を解く。 教科書の練習8、9を解く。	Classiによる確認 テスト Classiによる振り返りアンケート	③⑥
第4回 5/29、	等比数列	7	教科書P75、76を読み、授業プリント「等比数列とその和」の例題を解く。 教科書の練習13～16を解く。	Classiによる確認 テスト Classiによる振り返りアンケート	④⑥
		8	教科書P77、78を読み、授業プリント「等比数列とその和」の例題を解く。 教科書の練習17～19を解く。	Classiによる確認 テスト Classiによる振り返りアンケート	④⑥

高森高等学校2学年「化学」シラバス（5月分）

1. 単元 酸と塩基

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な 観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う	【知識・技能】 1 酸と塩基の性質を理解できる。 2 強い酸と弱い酸の違いを理解できる。 3 水素イオンの濃度とpHの関係が理解できる。 4 指示薬とpHの関係が理解できる。 5 中和反応と塩の性質が理解できる。 6 中和反応の利用について理解できる。 【思考・判断・表現】 7 日常生活や実際の物質と関連付けて理解することができる。 8 授業評価アンケートによって自分の考えを表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 9 課題に主体的に取り組み、取り組んだ内容を記録し、表現し、提出することができる。

4. 授業計画

(1) 準備物

教科書、ノート（ルーズリーフは不可、専用のものをつくること。登校日等集める可能性があります。）

(2) 確認テスト、授業評価アンケート

授業後等に Classi で配信しますので必ず回答すること。

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 0511.	教科書 2 編 2 章 1 節		1 NHK 高校講座化学基礎「酸と塩基」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。 5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。	確認テスト、授業評価アンケート	1 8 9
2 0513.	教科書 2 編 2 章 1 節		1 NHK 高校講座化学基礎「酸と塩基の強さ」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。 5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。	確認テスト、授業評価アンケート	2 8 9
3 0518.	教科書 2 編 2 章 2 節		1 NHK 高校講座化学基礎「水素イオンの濃度とpH」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。	確認テスト、授業評価アンケート	3 8 9

			5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。		
4 0520	教科書 2 編 2 章 2 節		1 NHK 高校講座化学基礎「指示薬と pH の測定」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。 5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。	確認テスト、授業 評価アンケート	4 8 9
5 0525	教科書 2 編 2 章 3 節		1 NHK 高校講座化学基礎「中和反応と塩の性質」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。 5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。	確認テスト、授業 評価アンケート	5 8 9
6 0527	教科書 2 編 2 章 4 節		1 NHK 高校講座化学基礎「中和反応の利用」を視聴する。 2 同学習メモを読む。 3 同理解度チェックを行う。 4 要点をノートにまとめる。 5 確認テスト、授業評価アンケートを行う。	確認テスト、授業 評価アンケート	6 8 9

1. 単元 1 編 私たちの宇宙の進化 1 章 宇宙の構造と進化 2 章 太陽と惑星

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・宇宙の誕生から地球が誕生するまでに起こった様々な出来事を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・宇宙の誕生から地球が誕生するまでの出来事を時間的、空間的に捉え、日常生活との関連について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組み、自分の取り組みを振り返る。	【知識・技能】 ①宇宙の誕生から地球が誕生するまでに起こった様々な出来事に関する問いに答えることができる。 【思考・判断・表現】 ②宇宙の誕生から地球が誕生するまでの出来事を時間的、空間的に捉え、日常生活との関連について考え、表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ③計画的に学習に取り組み、振り返り、それを今後の学習に生かすことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/8	オリエンテーション	1	・説明動画を見て、学習方法を理解する。		
第2回 5/15	1 章 宇宙の構造と進化	2	・教科書 P.14～15 を読む。 (参考：NHK 高校講座「3 天の川		
第3回 5/19	4 節 銀河と天の川銀河	3	・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
第4回 5/22	5 節 銀河の集団と宇宙の大規模構造	4	・教科書 P.16～17 を読む (参考：NHK 高校講座「4 銀河と宇宙の大規模構造」)		
第5回 5/26		5	・ミニテストに取り組む。 ・まとめノート作成	Forms によるミニテスト Classi によるノート提出	① ③
第6回 5/29	1 章のまとめ	6	・記述課題と振り返りを提出する。 ・ノートを写真に撮って送る。	Forms と Classi による課題提出と振り返り	② ③

高森高等学校 2 学年「体育」シラバス (5 月分)

1. 単元 体づくり運動「実生活に生かす運動の計画」

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識及び運動】 自己のねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための継続的な運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を継続するための自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保することができる。	【知識・運動】 自己の体力に関する目標を設定し、目標に応じた運動の計画を立て取り組んでいる。また、新たな課題を発見し、目標を再設定している。 【思考・判断・表現】 自己の課題、それらを合理的に解決するための運動の取り組み方について思考し判断したことを、根拠を示したり、筋道を立てたりして他者にわかりやすく伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、健康・安全を確保したりしている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/11	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	1	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主
2 5/18	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	2	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主
3 5/21	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	3	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主
4 5/26	体づくり運動 「実生活に生かす運動の計画」	4	体調確認・脈拍計測 目標・内容の設定 運動の実践 体調確認・脈拍計測、反省・感想記入	ワークシート (コンテンツボックスに提出)	知思主

高森高等学校 2 学年「体育」シラバス (5 月分)

1. 単元 体育理論「運動やスポーツの効果的な学習の仕方」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に自主的に取り組むことができる。	【知識】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての問いに答えることができる。 【思考・判断・表現】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての事実や理念、課題を整理し他者に伝えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 運動やスポーツの効果的な学習の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/7	スポーツの技術と戦術	1	・NHK 高校講座「スポーツの技術と戦術」視聴 ・教科書 P136～139 を読む ・ノート P120 を解く ・P120 の「考えてみよう」を P121 に記入する	ノート提出	知思主
2 5/14	技能の上達過程と練習	2	・NHK 高校講座「技能の上達過程と練習」視聴 ・教科書 P140～143 を読む ・ノート P122 を解く ・P122 の「考えてみよう」を P123 に記入する	ノート提出	知思主
3 5/19	効果的な動きのメカニズム	3	・NHK 高校講座「効果的な動きのメカニズム」視聴 ・教科書 P144～147 を読む ・ノート P124 を解く ・P124 の「考えてみよう」を P125 に記入する	ノート提出	知思主
4 5/25	技能と体力	4	・NHK 高校講座「技能と体力」視聴 ・教科書 P148～149 を読む ・ノート P126 を解く ・P126 の「考えてみよう」を P127 に記入する	ノート提出	知思主

高森高等学校 2 学年「保健」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 生涯を通じる健康「ア 生涯の各段階における健康」

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識】 生涯の各段階における健康について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯の各段階における健康についての事象や情報から課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、それらを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯の各段階における健康についての学習に自主的に取り組むことができる。	【知識】 生涯の各段階における健康についての問いに答えることができる。 【思考・判断・表現】 生涯の各段階における健康についての事実や理念、課題を整理し説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 生涯の各段階における健康についての学習に自主的に取り組んでいる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
1 5/8	思春期と健康	1	・NHK 高校講座「思春期と健康」視聴 ・教科書 P64～65 を読む ・ワークシートを解く ・classi 配信の内容に回答する	Classi ノート提出	知思主
2 5/15	性意識と性行動の選択	2	・NHK 高校講座「性意識と性行動の選択」視聴 ・教科書 P66～67 を読む ・ワークシートを解く ・classi 配信の内容に回答する	Classi ノート提出	知思主
3 5/22	結婚生活と健康	3	・NHK 高校講座「性意識と性行動の選択」視聴 ・教科書 P68～69 を読む ・ワークシートを解く ・classi 配信の内容に回答する	Classi ノート提出	知思主
4 5/29	妊娠・出産と健康	4	・NHK 高校講座「性意識と性行動の選択」視聴 ・教科書 P70～71 を読む ・ワークシートを解く ・classi 配信の内容に回答する	Classi ノート提出	知思主

高森高等学校 2 学年「音楽」シラバス（5 月分）

1. 単元 （1）オリエンテーション （2）西洋音楽の鑑賞 （3）楽典

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 基本的な楽典の内容を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 音楽から知覚したことと感知したことを関連づける鑑賞の姿勢を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 様々な音楽に対して興味を持ち、関わる姿勢を身に付ける。	【知識・技能】 ①音名などの基本的な内容を理解している。 【思考・判断・表現】 ②自分の好きな音楽について根拠を明確に持ち、表現することができる。 ③知覚した音楽の特徴と、感知したことを結びつけながら聴くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④教科書の内容に興味を持って関わろうとしている。 ⑤対象について興味・関心を持ち、主体的に調べている。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/11 -	好きな曲の紹介文	1	・好きな曲（ジャンル問わず）を1つ挙げ、その作品や作曲者、アーティスト、また、その魅力などについて紹介文を書く。	プリントに紹介文を記入・提出	②
第2回 5/13 -	教科書をひらこう	2	・教科書の全ページの中で、興味を持ったページについて書く。	プリントに記入・提出させる。	④
第3回 5/18 -	西洋音楽の作曲家	3	・教科書 p. 112～113 の作曲家から1人を選び、生涯や曲の特徴などについて調べる。	プリントに調べたことを記入・提出させる。	⑤
第4回 5/20 -	鑑賞	4	・第3回で調べた作曲家の作品の中から1曲を鑑賞する。 ・聴きとった音楽の特徴や感じたことを書く。	プリントに聴きとったことを記入・提出させる。	③
第5回 5/25 -	楽典①	5	・教科書を参考にしながら、楽典の問題を解く。	プリントを提出する。	①
第6回 5/27 -	楽典②	6	・教科書を参考にしながら、楽典の問題を解く。	プリントを提出する。	①

1. 単元 (1) Tsujii, the Great Pianist の内容を理解する (Lesson10)
 (2) 関係副詞・形式主語を理解する
 (2) ALT のエリカ先生との授業

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・辻井伸之さんのインタビューを通して、偉業を達成するには何が大切か理解する。 ・関係副詞、形式主語 IT を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・関係副詞を用いて、自分にとって特別な日や場所について説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画を立て、実施し、取組みを振り返る。	【知識・技能】 ①辻井伸之さんのインタビューを通して、偉業を達成するには何が大切か理解できる。 ②関係副詞、形式主語 IT を理解できる。 【思考・判断・表現】 ③関係副詞を用いて、自分にとって特別な日や場所について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画を立て、実施し、取組みを振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/7	Lesson 10-1	1	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・音源でリスニング、単語の意味確認、構文を確認し、ノートに書き込む ・単語確認テストを解く	ノートにポイントをまとめる classi	① ②
第2回 5/8		2	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・本文訳を書き、解答を参考にして内容理解 ・Q&A を解く、解答確認 ・Lesson10-1 確認テストを解く ・ノート（第1回・2回）の写真を提出	ノートにポイントをまとめる Forms class に提出	① ②
第3回 5/14	Lesson 10-2	3	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・音源でリスニング、単語の意味確認、構文を確認し、ノートに書き込む ・単語確認テストを解く	ノートにポイントをまとめる classi	① ②
第4回		4	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、		

5/15			理解度チェックをする ・ 本文訳を書き、解答を参考にして内容理解 ・ Q&A を解く、解答確認 ・ Lesson10-2 確認テストを解く ・ ノート（第3・4回）の写真を提出	Forms Classi に提出	① ②
第5回 5/19	Lesson 10-3	5	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・ 音源でリスニング、単語の意味確認、構文を確認し、ノートに書き込む ・ 単語確認テストを解く	ノートにポイントをとめる classi	① ②
第6回 5/21		6	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・ 本文訳を書き、解答を参考にして内容理解 ・ Q&A を解く、解答確認 ・ Lesson10-3 確認テストを解く ・ ノート（第5・6回）の写真を提出	ノートにポイントをとめる Forms class に提出	① ②
第7回 5/22	Lesson 10	7	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・ 偉人を1人選ぶ ・ 選んだ偉人について英語で紹介文を作成（ノートに調べたことをメモする）	ノートにポイントをとめる Forms で回答 授業再開後発表	④
第8回 5/26	関係副詞 形式主語	8	・「NHK 高校講座ベーシック英語」動画視聴、理解度チェックをする ・ classi「基礎コース関係副詞レベル1」動画視聴 ・ 教科書 p 91 を解く、解答確認、ノート（第7・8回）の写真を提出	ノートにポイントをとめる Classi に提出	② ③
第9回 5/29	ALT のエ リカ先生 との授業	9	・ エリカ先生からの英語の指示を Classi で配信する。指示通りに図形を描き、色を塗る。仕上がった図形を写真で撮り、Classi のコンテンツボックスに提出する	Classi に提出	④

高森高等学校 2 学年「英語表現Ⅱ」シラバス（5 月分）

1. 単元 (1) 英文の主語を考える (Lesson1)
(2) 名詞・冠詞を理解する (Grammar Focus)

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 - 日本語で明示的ではない主語を英語で適切に理解する。 - 名詞の種類と単元・複数の表し方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 - 日本の伝統行事をわかりやすく説明する。 【学びに向かう力、人間性等】 - 計画を立て実施し取組みを振り返る。	【知識・技能】 ①日本語で明示的ではない主語を英語で適切に理解できる。 ②名詞の種類と単元・複数の表し方を理解できる。 【思考・判断・表現】 ③日本の伝統行事をわかりやすく説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画を立て実施し取組みを振り返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/11	Lesson1 Build-up1 主語を決め	1	・classi「基礎コース S+V レベル3」動画視聴 ・p 8 例文音声を読みノートに写す ・例文確認テストを解く	Forms	①
第2回 5/13	る	2	・教科書 p 9 を解く、解答確認 ・ノートの写真を提出	Classi に提出	①
第3回 5/18	Lesson1 Build-up2 主語を決める	3	・classi「基礎コース無生物主語レベル2・3」動画視聴 ・p 10 例文音声を読みノートに写す ・例文確認テストを解く	Forms	①
第4回 5/20		4	・教科書 p 11 を解く、解答確認 ・ノートの写真を提出	classi に提出	①
第5回 5/25	Lesson1 Expressing 日本の伝統行事	5	・教科書 p 12 の step1 を解く ・日本の伝統行事について一つ選び、紹介英作文を書く（教科書 p 12 参考）	英作文の写真を classi に提出	③ ④
第6回 5/27	Grammar Focus 名詞と冠詞	6	・classi「基礎コース名詞の種類レベル1・3」動画視聴 ・教科書 p 13 を読む ・可算名詞、不可算名詞の確認テストを解く	classi	②

1. 単元 (1) 情報とメディア (2) 情報モラルと社会のルール

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディアについての特徴を考え、適切に情報を発信することができるようになる。 ・著作権について学び、著作権を侵害する例を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・計画的に学習に取り組むことができ、これからの情報社会を生き抜く力を身につけることができるようになる。	【知識・技能】 ①情報の特徴とメディアの意味を理解できている。 【思考・判断・表現】 ②メディアについての特徴を考え、適切な方法で情報を発信できる。 ③著作権の例外規定を理解できたうえで、著作権を侵害する例を考え表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ④計画的に学習に取り組むことができ、提出物についての期限を守ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/11	情報とメディア (1)	1	・NHK 高校講座 社会と情報 第1回 私たちを取り巻く情報情報とメディア 「メディアとは何か」「新旧の記録メディア」動画視聴 ・配布プリント 「02 情報とメディア (1)」穴埋め	Classi による確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ② ④
第2回 5/13	情報とメディア (2)	2	・NHK 高校講座 社会と情報 第2回 私たちを取り巻く情報どこまで信じる？ネット情報 「メディアリテラシー」～「情報は多面的～まとめ」動画視聴 ・配布プリント 「03 情報とメディア (2)」穴埋め	Classi による確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ② ④
第3回 5/18	情報モラルと社会のルール (1)	3	・NHK 高校講座 社会と情報 第15回 法律と個人の責任 個人情報情報はなぜ大事？ 「個人情報とは」～「まとめ」動画視聴	Classi による確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認	① ④

			・配布プリント 「04 情報モラルと社会のルール (1)」穴埋め	(5/28 提出)	
第4回 5/20	情報モラルと社会のルール(2)	4	・NHK 高校講座 社会と情報 第13回 情報化の影響と課題 情報モラル 「トラブル事例 その2」「トラブル事例 その3」動画視聴 ・配布プリント 「05 情報モラルと社会のルール (2)」穴埋め	Classiによる確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ④
第5回 5/25	情報モラルと社会のルール(3)	5	・NHK 高校講座 社会と情報 第14回 法律と個人の責任 考えよう著作権 「著作物と著作権」「保護期間が過ぎた著作物」動画視聴 ・配布プリント 「06 情報モラルと社会のルール (3)」「07 情報モラルと社会のルール(4)」穴埋め	Classiによる確認テスト 配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出)	① ④
第6回 5/27	情報モラルと社会のルール(4)	6	・NHK 高校講座 社会と情報 第14回 法律と個人の責任 考えよう著作権 「著作権法の例外規定」動画視聴 ・配布プリント 「08 情報モラルと社会のルール (5)」穴埋め ・著作権法違反にあたる例を3つ考える	配布プリントの穴埋めをしているか確認 (5/28 提出) 著作権法違反にあたる例をClassiで返信する	④ ③

高森高等学校 2 学年「フードデザイン」シラバス（5 月分）

1. 単元 調理実習

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 ・ 衛生的な食材の扱い方を理解する ・ 切り方・加熱方法について理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 料理に相応しい手順を考える 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 計画を立て、実践し、取り組みを振り返る	【知識及び技能】 ①衛生的な食材の扱い方を理解できる ②切り方・加熱方法について理解できる 【思考力、判断力、表現力等】 ③料理に相応しい手順を考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ④計画を立て、実践し、取り組みを振り返ることができる

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 5/8	2 年生にむけて	1	・ 教科書 P. 6 ～ 5 4 を読む	Classi による確認テスト	④
		2			
第 2 回 5/15	調理実習にむけて	3	・ 調理実習に向けて計画を行う ・ ワークシートを解く	Classi による確認テスト	①
		4			② ④
第 3 回 5/22	調理実習	5	・ 料理に沿った切り方・加熱方法を行う ・ 衛生的に食品を扱う ・ ワークシートで振り返る	出来上がった料理の写真を提出(コンテンツボックス)	③
		6			
第 4 回 5/29	調理実習	7	・ 料理に沿った切り方・加熱方法を行う ・ 衛生的に食品を扱う ・ ワークシートで振り返る	出来上がった料理の写真を提出(コンテンツボックス)	①
		8			② ④

1. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価 規準
第1回 5/8	1 週間のふりかえりと次週の計画 個人面談（4 名）	1	1 週間の振り返りを Forms に入力する 次週の計画を手帳に記入 Zoom などを利用して面談	Forms の入力状況 Zoom 上で確認	
第2回 5/15	1 週間のふりかえりと次週の計画 個人面談（4 名）	2	1 週間の振り返りを Forms に入力する 次週の計画を手帳に記入 Zoom などを利用して面談	Forms の入力状況 Zoom 上で確認	
第3回 5/22	1 週間のふりかえりと次週の計画 個人面談（4 名）	3	1 週間の振り返りを Forms に入力する 次週の計画を手帳に記入 Zoom などを利用して面談	Forms の入力状況 Zoom 上で確認	
第4回 5/29	1 週間のふりかえりと次週の計画 個人面談（4 名）	4	1 週間の振り返りを Forms に入力する 次週の計画を手帳に記入 Zoom などを利用して面談	Forms の入力状況 Zoom 上で確認	

高森高等学校2学年「総合的な探究の時間」シラバス（5月分）

1. 単元

「地域に貢献する」をテーマに、地域と現代社会に対する認識の深化を図り、主体的に地域の発展に寄与する自己の在り方を考える。また、課題解決学習や情報発信活動を通して論理的思考力、判断力、コミュニケーション能力を育成する。

具体的には5月で探究テーマを設定することが目標である。

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識及び技能】 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。	【知識・技能】 1 探究の意義や価値を理解できる。 【思考・判断・表現】 2 自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 3 探究に主体的・協働的に取り組むことができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	学習内容	評価方法	評価規準
1 0513	探究について	1 NHK高校講座総合的な探究の時間「第1回あなたが人とつながることで何が生まれるか？」を視聴する。 2 同学習メモを見て理解を深める。 3 Classi で確認テストを解く。	Classi で配信される確認テストによる。	1 2 3
2 0520	探究について	1 NHK高校講座総合的な探究の時間「第2回あなたが人とつながることで何が生まれるか？」を視聴する。 2 同学習メモを見て理解を深める。 3 Classi で確認テストを解く。	Classi で配信される確認テストによる。	1 2 3
3 0527	探究について	1 NHK高校講座総合的な探究の時間「第3回あなたはどのように社会の役にたてるか～あんずさんの場合～」を視聴する。 2 同学習メモを見て理解を深める。 3 Classi で確認テストを解く。	Classi で配信される確認テストによる。	1 2 3